

# 苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 7 回 定例委員会
日 時	平成28年6月10日 自 15時00分 至 15時44分
場 所	市役所第2庁舎2階南会議室
出席委員	教 育 長 和 野 幸 夫 委 員 上 原 毅 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 佐 藤 守 委 員 植 木 忠 夫
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 郁 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 前 田 亜矢子
事務局職員	教 育 部 長 松 浦 務 教 育 部 次 長 瀬 能 仁 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 総 務 企 画 課 長 補 佐 千 葉 暢 総 務 企 画 課 主 査 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 事 前 田 亜矢子
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（和野教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3	会議録の承認
	（和野教育長） 第6回定例教育委員会（平成28年5月27日開催）の会議録について、何かご質疑ございますか。
	（一同「なし」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（和野教育長） 前回、5月27日の第6回定例教育委員会からの事業などについてご報告させていただきます。
	6月1日に、平成28年度苫小牧市PTA連合会定期総会が文化会館で開催されております。私から、PTAが主体として開催する研修会の場で、子育てや学習に関する悩み事を取り上げていただき、教育委員会とともに課題を話し合う機会としたいと挨拶しております。平成27年度の事業・決算報告並びに平成28年度の新役員と運営方針・予算等が承認されております。新会長には、開成中学の成田真澄さんが就かれております。
	同じく、6月1日に苫小牧市学校保健会の総会が教育福祉センターで開催され、副会長である王子総合病院大岩院長も出席されました。平成27年度事業決算報告、平

<p>成28年度事業予算の審議などを行っております。</p>
<p>6月3日には、苫小牧市防犯協会総会が市役所9階会議室で開催されました。平成27年度の事業実施報告、防犯協会収支決算、平成28年度事業計画案、収支予算案について承認されております。会長には、新町内会連合会会長の谷岡裕司さんが就かれています。</p>
<p>同日3日に開催されました校長会では、さきに委員会にて説明いたしました「コンプライアンス会議」、「教職員の時間外縮減推進委員会」の取組項目などについて説明をし、また、爆破予告の対応に関連して、整理・整頓・清潔・清掃の「4S運動」などの取組により学校施設管理が行われていると爆発物の校内検索には有効になる等、日頃の学校施設の管理についてお話をいたしました。</p>
<p>6月4日には、平成28年度美術博物館大学講座入学式が開催されております。予定定員150名を超える162名の応募があり、全員に入学していただきました。祝辞では、美術博物館の会議室が大変手狭になったので、譲り合って講座を受けてほしいをお願いをしたところであります。来年の2月25日まで9回の講座を予定しており、実りある講座になるよう期待しております。</p>
<p>6月5日に、第27回歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール表彰式が開催されております。249件の応募があり、1年から3年の低学年の作品184点から6点が、4年から6年の高学年の作品65点から6点が、北海道胆振振興局長賞、市長賞などを受賞されております。私から、低学年の部で北光小学校1年生の五十嵐桃羽さん、高学年の部で明野小学校6年生の中島龍臣さんに教育長賞を授与しております。いずれの作品も、力強く一生懸命に「むし歯予防」を訴えたポスターでありました。</p>
<p>6月9日に、子どもを守り心を育てる運動実行委員会が市民活動センターにて開催され、平成27年度の事業報告、平成28年度の事業計画が承認されました。また、委員長に苫小牧市中学校区別生徒指導連絡協議会連合会会長の柳谷昭次郎社会福祉協議会会長が選任されております。事業内容では、7月1日に結団式、翌7月2日に第</p>

4回いじめ問題子どもサミットを皮切りとして、さまざまな活動が展開される予定になっております。

次に、新聞報道にもありました公立高等学校配置計画について、本市の中学卒業生数の動向により、平成31年度には南高校の1間口減が北海道議会で示されたところであります。先の4月27日に開催された第1回地域別検討協議会でも、胆振東学区の卒業生数の見込が示され、間口減の方向は示されておりました。具体的な学校名について、これまで東高校と白老東高校が間口減になっておりますので、南高校の可能性もあったところではありますが、今後の高等学校の配置について、これまでの生徒数減イコール間口減の手法では「まちづくり」の視点からも大きな課題があると考えております。

以上で報告を終わりますが、報告について質問等はございますか。

(一同「なし」の声)

## 5 議 案

### 第1号 動産の取得について

(教育部次長) -動産の取得について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何か質問はございますか。

(上原委員) 取得の方法なのですが、単純に考えると市が業者から直接購入するのが普通の方法だと思うのですが、先ほどの説明の中で防災資機材うんぬんという話がありまして、その活用を含めて、備荒資金組合から譲渡という形を取るという話がありました。それで、備荒資金組合を通すメリットは何かあるのでしょうか。

(総務企画課長補佐) 備荒資金組合を使い、償還金という形で今後5年間にわたっ

<p>て支出するということが、単年度内の支出を低く抑えられるということが1つと、後は、利率が非常に安く財政融資資金の利率と全く同じでして、現在ですと0.1パーセントなので、リース会社を使ってリースをすることと比べても経済的メリットがあるということでございます。</p>
<p>(上原委員) わかりました。</p>
<p>(和野教育長) 他にございませんか。</p>
<p>(佐藤守委員) 順調に契約が進んでいったら、いつ頃苫小牧市内の各小中学校に配置になるのでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長補佐) 現在の予定では、夏休み中を目途として進めておりますが、状況に応じまして、夏休み中に完了しない場合も想定されます。少なくとも、8月もしくは9月中には配置を完了したいと考えております。</p>
<p>(佐藤守委員) わかりました。あわせて、セキュリティの関係も納入業者がやるのでしょうか。それとも、別の業者がやるのでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長補佐) パソコン自体のセキュリティに関しては、指紋認証を行うことを考えております。また、ネットワークに繋いでからのセキュリティに関しましては、ネットワークの運用業者ですとか使用するシステムのサーバのホスティング業者の方で、可能な限りセキュリティが万全になるような技術的な対応をしていきたいと考えております。</p>
<p>(佐藤守委員) 今まで、道内では、USBの取扱いが問題になっていると思いますが、先生に1台ずつということになりますと、なおさらUSBの管理が重要になってくると思うのですが、その辺はどのようなお考えを持っているのでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長補佐) USBメモリに関しましては、その取扱いですとか、具体的にUSBメモリをどのような機能を持ったものにするか、例えば、ウイルス対策ソフトが入っているとか、中のデータを暗号化するとか、そういった機能を持っているものを学校で使用するということが、セキュリティガイドラインとして、今回、苫小牧市として統一的なものを策定しようとしているところでございまして、それを各学校</p>

<p>の一般の教職員に対して説明する機会を、これから持ちたいと考えております。</p>
<p>(佐藤守委員) ありがとうございます。</p>
<p>(和野教育長) 他にございますか。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 今のUSBメモリですとかセキュリティの関係で、システムとかサーバの業者さんをお願いする時に定期的に点検があると思うのですが、その場合の支払いというのは、別に予算化されているものなのでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長補佐) 契約の中に、サーバを使わせていただくという部分と運用監視という部分がございます。その監視については、システムが正しく動いているかということの他に、例えば先生方が個人情報を含むファイルを不正に扱っていないか、業務に関係のないインターネットのホームページを見ていないか等を監視したりする部分を含めまして、そこは、業者に委託している部分で運用監視をしていきたいと考えております。</p>
<p>(佐藤郁子委員) たぶん、これから使い方について先生方を対象に研修会や講習会を開かれると思うのですが、非常に巧妙にウイルスが入ってくるので、USBメモリだけの防御というのでしょうか、それは私どものところでも限界があって、1回ずつチェックをしてから新たにパソコンに入れるというようなことをして、やっと感染しないようにしていても、分からないように入ってきます。そういう時の処理の仕方なのですが、それは学校で対応できるのか、それともやっぱり業者さんをお願いするのかというところで、広がりも随分あるかと思えます。私どもも大変苦慮しているところでしたので、お伺いしたいと思います。</p>
<p>(総務企画課長補佐) やはり、ウイルス対策ソフトにしても、対策はたちごっこという部分がありまして、悪いことをしようとしている人の方が先に進んでいる状況がございますので、どうしてもウイルス対策ソフトで百パーセントは防御できないという現状があります。その場合、どのような対策をしていくかというところについても、先ほど申し上げたセキュリティガイドラインの中で規定しまして、先生方にこういう形で対応してくださいというご案内をしたいと考えています。</p>

<p>(佐藤郁子委員) わかりました。ありがとうございます。</p>
<p>(佐藤守委員) よろしいでしょうか。今までも校長先生が使っていたりして、何台か学校にパソコンがあると思うのですが、それを今度は全員に1台ずつ当たる訳ですが、その場合、古いパソコンと新しいパソコンの関係はどのようになるのでしょうか。古いパソコンも置いておいて新しいものを使うのか、それとも新しいものが来たという事で古いものは破棄するのか、その辺の取扱いはどのようになるのでしょうか。古いパソコンにはデータがいろいろと入っているわけで、それを新しいパソコンに移す作業がけっこうあると思います。</p>
<p>それから、学校はそれぞれホームページを持っていると思うのですが、今は統一のホームページを市の方で各小中学校に配信していますので、その辺の取扱いに変わりはあるのかどうか、その辺をお聞きしたいと思います。</p>
<p>(総務企画課長補佐) まず、既設のパソコンの扱いについてですが、基本的にはそのまま使っていただこうと考えています。更新期間まで数年ありますので、この機会に全て破棄するというのではなく、教頭先生や校長先生が使っているパソコンはそのまま使っていただいて、一般の教職員の方については教室での使用も考えたノートパソコンを配備するという形で考えておりますので、これまで蓄積したデータにつきましても、基本的にはそのまま利用できるということを想定しています。</p>
<p>また、ホームページに関しましては、市の方ではCMSというホームページを管理するシステムを使っている関係で、データは全てサーバといいますか、センター側にデータがある形になっていますので、これにつきましては引き続き利用できるというふうに考えています。</p>
<p>(佐藤守委員) 最後に1つだけ、すみません。若くてパソコンを使い慣れている先生と、定年間近で今までパソコンに触れていない先生もいると思いますが、そういう先生の机にパソコンが来て、どうぞと言われても使えない先生もいるかと思いますが、その辺の対策はどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長補佐) これが百パーセントの対策だとは考えていないのですが、今</p>

<p>想定しているのは、ヘルプデスクというものを業務委託しようと考えていまして、これは何かというと、質問に対してお答えする窓口というのを、電話もしくはメールで受けようと考えています。それで、簡単なパソコン上の操作等につきましては、ヘルプデスクの方でご案内するというのを想定しています。</p>
<p>(佐藤郁子委員) もう1つお願いします。たぶん、ガイドラインに入ってくるのだと思うのですが、成績や個人情報等の学校独特のものがあるのですが、そのバックアップはどこで考えていらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長補佐) 成績等のデータにつきましては、世間一般で言われているクラウドサービスという形で、センター側にデータが全てあるというシステムがありまして、それをネットワークを通して利用して保存するという形を取っています。なので、センター側の業者の方でデータのバックアップを取るという形になります。</p>
<p>(佐藤郁子委員) それは、サーバの業者と同じ業者ではなく、また別の業者になるのでしょうか。</p>
<p>(総務企画課長補佐) 校務支援システムという成績を扱う業者は、実は市内にはなくて、別な業者になります。道教委の方で一括してやろうとしている事業がありまして、そちらの方を利用しようと考えております。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 同じところだとちょっと問題になることがあろうかと思いたいで、お伺いしました。ありがとうございます。</p>
<p>(和野教育長) 校務支援システムを入れるのは、先生方の時間外勤務の縮減なども大きな目的で、校務支援システムも道教委が作成した改良型を使用して、少しでも日々の仕事の省力化を図ろうというものです。最終的には、個人のパソコンは使わせないことにはなりますが、移行する期間を何年間か設けるということです。個人のパソコンは学校に入れさせないというのが基本的な流れですが、新しいパソコンが入ったので明日からやるということではなくて、何年間か経過措置を持つということと、個人情報のデータは持ち出さないという基本的な考えがあります。</p>
<p>(佐藤守委員) マイクロソフトの最新版のOSは入るのでしょうか。</p>



(総務企画課長補佐) はい、Windows 10 という OS になります。
(和野教育長) 他にございますか。
(一同「なし」の声)
(和野教育長) 質問がなければ、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
-原案どおり決定-
議案第 2 号 教育費補正予算について
(教育部次長) -教育費補正予算について説明-
(和野教育長) 質疑に付します。何か質問はございますか。
(佐藤守委員) あおば学級に不登校支援員を 1 名配置ということで、大変良いことだと思うのですが、どのような方が入るかももう決まっているのでしょうか。
(教育部参事) 私からお答えさせていただきます。支援員については、現在内定している段階でして、元教員が担当する予定でございます。
(佐藤守委員) その先生は、不登校の対策に長けているような先生なののでしょうか。
(教育部参事) 不登校対策に長けているという部分と、今まであおば学級には専任指導員という形で置かれていたのですが、今回は不登校支援員ということで、どちらかというアウトリーチ的に学校を訪問したりしながら不登校の相談に乗ったり、不登校の早期発見にあたりたりする役目ということで、そういった意味では学校現場の

<p>事情を良く知っているということで、元教員を当てるとということで考えております。</p>
<p>(佐藤守委員) ありがとうございます。</p>
<p>(上原委員) この不登校児童生徒支援事業というのは、恐らく当初予算の中で何名分かということで見えていたと思います。もしなかったとしたら、私の勘違いなので訂正していただきたいと思いますが、この当初予算で見えていたとすれば、ここで1名増とする理由がよくわかりません。例えば、4月以降に不登校の子どもが急に増えたのでそれに対する支援が必要となったのか、それとも道の委託金ということなので、道の意向が相当入っているのかなと思いますが、そこら辺のことをお聞きしたいです。</p>
<p>(教育部長) 厚生労働省のモデル事業として全国で募集した案件でございまして、中にはフリースクールの関係に対する補助ですとか、今回私たちが活用させていただいたのは不登校支援になります。こちらが、平成28年度の厚生労働省のモデル事業という形で昨年度末に手を上げさせていただいて、北海道の方で苫小牧市に認めていただいたということで、1名分の増員費用を今回補正させていただきました。</p>
<p>(上原委員) では、全くの新規ではなく増ということですね。</p>
<p>(教育部長) 今までも、あおば学級に専任指導員がいらっしゃったのですが、今回、こういった形でよりこまめに学校を回っていただいて、不登校に対する早期の支援を図っていただくということで、学校には今までも皆さんで時期を決めて定期的に行っていたのですが、これからは年間を通じて回っていきましょうという形にさせていただきました。</p>
<p>(上原委員) 新しい支援員を1名配置すると、不登校の支援をする担当の人は何人になるのですか。</p>
<p>(教育部参事) 支援員と合わせると7人になります。</p>
<p>(上原委員) わかりました。</p>
<p>(和野教育長) ずっと単独事業でやろうとしていたのですが、人件費が掛かるということで予算が付かなかった経緯があります。それで、ちょうど財源があったので補正したということです。</p>

(佐藤守委員) これは、何年間くらいの事業になりますか。
(教育部参事) 単年度です。
(佐藤守委員) 単年度であれば、結果が良ければ来年度以降も苫小牧市で予算を付けるという流れになるのでしょうか。
(教育部長) ある程度の成果が出れば、そうなると思います。
(教育部参事) 既に、各学校への訪問はスタートしておりまして、大体1日に2校程度を回るのですが、それもやみくもに回るのではなく、昨年度までで不登校傾向とされている子供たちを指導室の方で事前にピックアップしまして、そこを重点的に訪問してもらっています。
(教育部長) 国の方でまた来年度もやるということであれば、また手を挙げさせていただきます。
(和野教育長) 他にございますか。
(一同「なし」の声)
(和野教育長) 質問がないようですので、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
-原案どおり決定-
議案第3号 苫小牧市公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員の委嘱について
(和野教育長) 議案第3号につきましては人事案件でございますので、教育委員会

会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、当該議案の審議を日程の最後に行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(和野教育長) それでは、議案第3号は秘密会とし、当該議案の審議を日程の最後に行うことに決定いたしました。

## 6 協 議

(和野教育長) 協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。

(一同「なし」の声)

## 7 その他

(1) 平成28年度 教育施設訪問の日程について

(総務企画課主査) -平成28年度 教育施設訪問の日程について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何か質問はございますか。

(佐藤守委員) 今年は、他の教育関連団体との意見交換会は予定されていないのでしょうか。

(総務企画課主査) 現段階ではまだ決まっていますが、外部の有識者等と教育委員との懇談といたしますか、意見を取り入れることも重要であるとされておりますので、

その辺も検討していきたいと思っております。
(佐藤守委員) 清水小学校は昨年も行っているのですが、何年も行っていない学校もあると思います。どの学校が一番行っていないかわかりますか。
(総務企画課主査) 一番行っていない学校は、8年間訪問しておらず、今年予定に組み込みました緑小学校になります。そういった学校をできるだけ多く予定に入れています。
(和野教育長) 清水小学校は、もう日程調整をしているのでしょうか。
(総務企画課主査) これからになります。ここで案が決定となってから、学校に依頼したいと考えております。
(和野教育長) まだ決定したということではありませんので、この学校に行きたい等何かご意見があれば、今でも結構ですし後日でも構いませんので、ご意見があれば対応したいと思います。
(佐藤守委員) わかりました。
(和野教育長) 他にありますか。なければ、質疑を終結したいと思います。これより、先ほど秘密会とすることに決定いたしました議案第3号の審議を行いたいと思います。関係者以外は退席をお願いいたします。
(和野教育長) それでは、秘密会を解かさせていただきます。
なお、議案第3号につきましては原案どおり決定となりました。
8 委員会閉会の宣言 (和野教育長)・・・15時44分